

ありす刈和野だより

A r i s u K a r i w a n o D a y o r i

「令和2年度ありす刈和野」

世界中で新型コロナウイルスが脅威を振るっています。一刻も早い終息を祈るばかりです。福祉エリアありす刈和野も開設から6年目に入り、日々新しい事に取り組んでいこうと考えております。その1つとして、各事業所の紹介・今年度新しくありす刈和野に加わった職員の紹介を行いたいと思います。このホームページをご覧になって詳しい情報を、聞きたい・見たいと思われましたら是非1度、福祉エリアありす刈和野に見学にいらしてください。



施設長
高橋 仁

当事業所は開設から6年目を迎えました。今後も介護保険と障がい福祉のサービスを複合的に提供する多機能施設の特徴を生かしながら、地域福祉の拠点施設として積極的に活動していきます。

今年度の職員の基本姿勢を以下のように掲げました。

①「笑顔と礼節を忘れない」

利用者や家族、地域住民、関係機関等に対し、常に爽やかな笑顔を心がけ、積極的に挨拶し感謝の気持ちを伝え礼節を重んじます。

②「職種や事業所間に壁を作らない」

各事業所で見えてきた課題は福祉エリア全体の課題でもあるという共通認識を持ちながら、様々な職種や事業の枠に捉われない柔軟なサービスをワンチームで提供していきます。

③「経営的な視点を併せ持つ」

全ての職員が福祉エリアの経営状況を理解し、利用率の向上を目指しながら、節約にも努めつつ、それぞれができる取組みを積極的に実践し効率のよい事業運営を目指します。

新型コロナウイルスの影響から日々言いようのない陰鬱な気分になりがちですが、このような状況下であるからこそ尚更、利用者の笑顔がより多く見られるように職員一同精一杯がんばっていきます。今年度もよろしく願いいたします。



新任職員の 紹介



多機能課長
木全 絵里子

○ 所 属 ○ 多機能事業所ありす刈和野
(生活介護・就労継続支援A型)

はじめまして。木全(きまた)と申します。柏の郷で入所支援に携わってきましたがこの度、ありす刈和野へ配属となりました。常に思いやりを持ち利用者の皆様から笑顔で過ごせるように努力してまいります。よろしくお願い致します。



ありす刈和野だより

A r i s u K a r i w a n o D a y o r i

多機能事業所ありす刈和野 (生活介護)



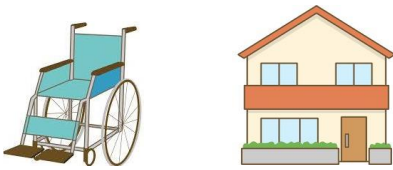
当事業所は、利用される方々が自立した日常生活を継続できるように、理学療法士によるリハビリ、ゆっくり対応できる入浴、地域性を活かした「ちょっとそこまで」外出支援、季節毎の外出ドライブ、行事開催など多彩なプログラムを実施しています。皆様が笑顔にあふれ充実した1日を過ごされるよう真心込めたサービス提供を心がけています。

グループホームありす刈和野



当事業所は、認知症の方が家庭に近い環境で、その人らしい自立した生活が継続できるよう支援していく事業所です。現在2ユニット18名が生活しています。スタッフは認知症の方の抱える悩みや不安の理解に努め、日々の生活の中におけるリハビリで認知症状の進行が緩和できるような支援をしています。

ユアホームありす刈和野



当事業所は、障がいの方が主に夜間や休日に入浴・排泄・食事の介護、その他の日常生活上の援助や相談を受けながら共同生活をしていく事業所です。現在10名の方が生活しています。日中はそれぞれの個性や能力に応じて、就労継続支援や生活介護・一般企業など各事業所へ通われて過ごしています。

多機能事業所ありす刈和野 (就労継続支援A型)



当事業所は、一般企業では就労が難しい障がい者に対して、清掃作業や農作業等の就労の場を提供し、収入を得ながら一般就労に必要な知識や技術を学んでいくことを目的とする事業です。現在の訓練作業は、当法人で運営している施設の清掃作業、大仙市からの委託業務等、今後も業務拡大に向け、職員利用者一緒に頑張っていきたいと思いをしています。

ありすの街 ケアプランセンター



大仙障がい者相談支援 センターかしわ

地域に暮らす障がいのある方や高齢の方そのご家族のための相談窓口です。2つの事業所は同じ場所に設置されており、障がい者と高齢者の相談窓口を1本化することでワンストップサービスを提供します。福祉サービスの紹介やサービス事業者との調整、生活上の悩みなど様々な相談に対応しています。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

